

ARCH

[アーチ]

大東文化大学

青桐会

あおぎりかい

2015

VOL.87



応援団とチアリーダー

青桐会創設55周年に向けて、

更なるご理解とご支援を



大東文化大学 青桐会会長 佐々木 一男

日頃から会員の皆様には、青桐会の活動に深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨により、鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市をはじめ、栃木県、宮城県、埼玉県で被災された皆様には、謹んで心からお見舞い申し上げます。青桐会では、大学と連携して居住する家屋が被災された会員の皆様に、所定の手続きを済まされた場合にはお見舞金を支給しております。

早速でございますが、会報誌「ARCH」をお届けするとともに、スマートフォンからでも見られる機能やメールマガジン機能を備えた青桐会ホームページを全面的に刷新しましたので、お知らせいたします。（利用方法は、下段に記載）

さて、5月の定期総会から6ヶ月が経過し、青桐会の活動について次のご報告いたします。今年度は、3つの柱であります①大学との相互協力による学生生活や活動への援助・応援②支部活動の充実及び本部との緊密な連携③組織財政の見直しについて取り組んでおります。

具体的には、6月に東松山校舎において、第一回全国校舎見学会を開催するとともに、11月には板橋校舎において、第二回全国校舎見学会及び全国就職懇談会を開催して多数の

参加をいただきました。

次に、全国8地域でのブロック活動では、10月に中国ブロックは出雲駅伝、北海道・東北ブロックは杜の都女子駅伝の応援を実施するとともに、新春の箱根駅伝は、関東ブロックが応援を担当して、地域ブロック別による応援体制を構築しております。

また、キャリアセンターと連携し、年間を通じて青桐会公式サイトトップページに、会員皆様方のお勤めの企業や身近な企業からの求人票の募集ができるようにいたしました。首都圏や地方を問わず会員皆様方から「良い学生がいたら採用したい企業」にご推薦いただき、1枚でも多くの求人票がキャリアセンターに集まりますよう地域密着型の事業にご協力をお願いいたします。

1月2、3日には「箱根駅伝」が開催されます。「大東文化大学青桐会応援場所一覧」をARCHとともに同封いたしましたので、応援におでかけの際には、お役立てください。大東のライトグリーンの活躍に応援をお願いいたします。

なお、大東文化大学青桐会は、平成28年に創設55周年を迎えることとなります。青桐会役員・事務局一同は、今後も重点施策を推進してまいりますので、会員の皆様方には、更なるご理解とご支援の程をよろしくお願ひいたします。来年も、ご家族の皆様がご健勝であることを祈念し、ご挨拶いたします。

目次

2015
VOL.87

ご挨拶	2
大東文化大学青桐会会長 佐々木 一男	
大東文化大学学長 太田政男	3
全国校舎見学会／全国就職懇談会	3
理事長・会長対談	4
大東大運動部・文化部	6
学内就職セミナーのご案内	8
杜の都駅伝	8
編集後記	8

Renewal

青桐会ホームページが 全面更新

会員とのコミュニケーションツールを充実させる目的で青桐会ホームページの全面更新を行いました。今後は、学生の課外活動や応援等に関する情報を積極的に掲載します。併せて、就職支援強化策として、会員が勤務する会社等からの求人協力を掲載して、企業や会員・OBの方から一枚でも多くの求人票をいただくために、直接キャリアセンターに送るか、青桐会からでも求人票の提出を出来るようにしました。また、スマートフォンに対応できる機能やメールマガジンの新設を図り、専用の会員サイトを設け、学生生活の手引きをはじめ会員向けの情報を掲載しています。

アドレス：<http://www.daitoaogiri.com>
会員専用へは「青桐会会員TOP」で、
会員パスワード：aogiri2015（全て小文字）

ご挨拶

保護者と教職員の思いを 縊り合わせて



大東文化大学 学長 太田 政男

今夏も各県支部で総会が開かれました。ご参加ありがとうございました。私ども教職員も、今年は大東の業務と位置づけて例年以上に準備をして参加させていただきました。

そこで出されたみなさんご意見や要望は、大学の教育や指導をより良いものにしていくための貴重な提言だと思っております。親・保護者のわが子の成長を願う思いは、教育の土台にあるべきものです。私たち教職員はその思いに学び、仕事のあり方を見直し、改善していきます。

教職員もまた、すべて学生のことを思い、学生にこのように成長して欲しいという高い要求を持ち、授業や学生支援を工夫し努力していますが、双方の思いに行き違いや誤解が生まれることもあります。

支部総会のような場で直接に対話する機会があることは、単なる不満やクレームに終わらせないために大変ありがたいことだと思っております。また、親・保護者のみなさんにとっても親同士が知り合いになり、心配や不安を共有する上でも青桐会の存在は大切なのではないかと考えています。そして最も大切なことは、学生自身の思いです。教育の出発点はそこにあります。学生が成長するのは、学生自身がその気になり、自らの力で努力することによってしかありません。学生をその気にさせ、努力するようにさせるのが、親・保護者と教職員の支援です。

いただいたご意見、ご要望については、改善すべきものについては直ちに着手しますし、大学としての回答は11月末に開催しました青桐会本部と大学との「意見交換会」でお示しして、会員のみなさんにもお知らせしていくこととなります。

今後ともよろしく願います。

全国校舎見学会

平成27年11月8日、青桐会本部主催の全国校舎見学会を板橋校舎で開催いたしました。初めての板橋校舎での開催でしたが、全国各地より52名の皆様のご参加を頂きました。

あいにくの雨模様でしたが、皆様、エコ・システムやパソコン141台と蔵書94万冊の規模を有する図書館等、その素晴らしい、充実した校舎に目を輝かせて見学していました。普段、見ることもない我が子のキャンパスライフが浮かぶような楽しいひと時を過ごしました。

来年も開催する予定ですので、参加されたことがない方は、子供達の学んでいる環境や設備を是非一度ご覧になることをお勧めします。



全国就職懇談会

全国校舎見学会と同日、全国就職懇談会を開催いたしました。

現在の就職状況、又今後の就職戦線に臨む上で、大学キャリアセンタースタッフが、就職活動のポイントや情報を熱意を持って、又親身に学生たちを指導し、その後のケアにも力を入れていることが感じられました。

株式会社リクルートキャリア・リクナビ編集長・森川茂樹様から「2016年就職活動の振り返り及び2017年卒に向けて」の講演をいただきました。

企業が求めている人材等のお話を聞き、今更にはありますが、親として子供への接し方・就職活動の進み方等、あらためて考えさせられました。

また、厳しい就職戦線乗り越え内定を得た3名の学生さんの体験発表もありました。学生さんの生の考えを聞き、親として、今、子供に何が出来るかを考え、出来ることから始め、子供により良いアドバイスをする事の大切さを再考しました。



理事長 × 会長

対談

平成27年
10月3日(土)
【場所】理事長室



大橋理事長

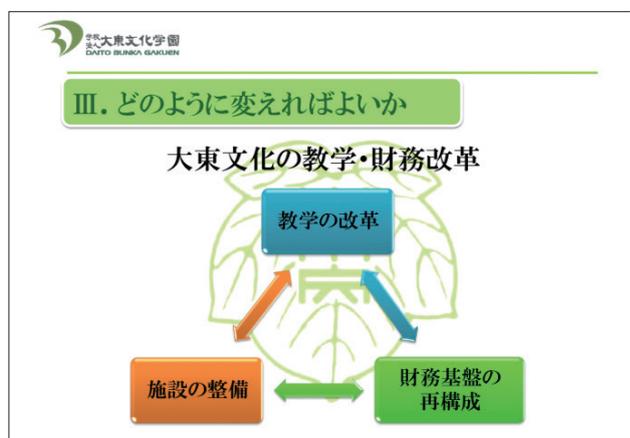
佐々木会長

会長 理事長に、就任おめでとうございませう。本日の対談は、理事長に就任され、はじめてお会いしましたので、理事長ご自身のことや大東文化学園の経営面から見た今後の方向性のお話を伺いたいと思います。6月に理事長に就任されたばかりですので、理事長の経歴をご存じない保護者も多くいらっしゃいますので、経歴を

また、経営面については、どのようにお考えですか？
理事長 大東文化学園理事を3年間1期務めた経験から、大東文化大学は、このままではもったいない、もっといきいきと存在感のある大学になれると思っています。100年に近い歴史の中で多くの卒業生を抱え、蓄積した教育研究成果があり、

会長 理事長は、何年にお生まれですか？
理事長 1942年・昭和17年10月6日73才です。
会長 理事長就任にあたり、抱負をお聞かせください。

教えていただけますでしょうか。
理事長 愛知県名古屋の出身で、高校まで名古屋で過ごしました。
立教大学に進み、立教大学大学院を修了し、教員としては神奈川大学で4年間、その後、立教大学に戻りました。立教大学では、経済学部にも所属して、学部長を2期・総長を2期務めました。立教には、理事長とまた院長がいらっしゃいます。
総長は、教学と経営にも携わっています。



高度成長期に出来た新しい大学とは違います。
きちんと再編成して輝く大学にしたい。今やらないでこのまま行ってしまうたら、きっと停滞してしまいます。
停滞した時に頑張ろうとしても遅い、やるなら今、今やなくては何らない時期です。今やれば間に合います。
会長 このままでは大学が発展するのはなく、衰退してしまうということですね。
理事長 以前より思っていました。学生、勤めている教員・職員も、「大東は大丈夫だろう」との安堵感がある。ある意味では、それは財産ではあるけれども、輝いている大学とは違います。
理事長も学長も、ひとりでは何もできません。
集まって来ている人、その人たちと一緒に頑張れば、大学を変えられると思う。

会長 時代のニーズにマッチングしていないことですか。
理事長 大学進学率は、昔10%、戦前などは数パーセント、僕の頃で、20~30%程度でした。そういう学生さんの意識と、今の学生さんは違う。
どっちの時代がいいということではありません。
なるべく、ていねいな授業を、ゆつくり小さい教室で行っていく。
現状にあわせた施設でなければいけない。小さい教室をきちんと整備することを考

会長 大学運営での目標で、強調したいものがあればご紹介ください。
青桐会は、昭和36年に父兄会として発足し、平成17年に青桐会へ名称変更した保護者の会です。
立教大学でも保護者の会はあると思いますが、大東文化大学は他の学校と違いがあり、熱烈な大東ファンがいます。
今後も理事長と青桐会と連携して行きたいですね。
面倒見のいい学校として、「学生に卒業して良かった大学」にしていきたいです。
理事長 教学の中身・教育の施設、スタッフは、財政基盤が確立していないと、理想の高い理論を言っても、成り立ちません。
身近なところでは、教室の整備をきちんとしないとダメですね。
現在、大きい教室は、200人~300人入りますが、これでは、中身の濃い教育はしにくいところがあります。
小さい教室で、20人~30人が理想です。
現状は、そうなっていない。
高度成長期の教室は、大教室で外から見るときれいな教室ですが、実際に使った教育しようと思うと中身の濃い教育ができません。
会長 時代は、教室の整備をきちんとしないとダメですね。

えています。

会長 都心進出と4年間同じキャンパスについてはいかがですか？

理事長 議論の途上です。都心進出は、3つ目のキャンパスの建設のことですね。

作るのともかく、建設しても維持していくのが大変です。

それより、東松山・板橋のキャンパスが本当の意味できちんとしているのかを検証することが大事です。

スポーツはいいですよ。楽しいですよ。

施設を拝見しましたが、グラウンドはそれなりに整備が進んでいます。合宿所・練習場は、これでいいと言えるレベルではないと思います。

スポーツの大東として十分な設備にしないといけない。

会長 中央大学・明治大学は、他の部活が集まって寮を共同寮としているようです。

いい面も悪い面もありますがいかがでしょうか。

理事長 それもありますね。とにかく、合宿所をどうにかしないとダメですね。

それを整備するのも資金が必要です。新キャンパスよりも中身を重視、中身の充実ということですね。

経営面からのサポートですね。設備の中身を充実させるサポートで先に出ないといけません。

会長 地方に対してはどのようなお考えをお持ちですか。

山形駅前の大東大の看板がなくなつたと聞いています。学校側も地方の方は、忘れていません。また、地方のことも配慮します、というお話を聞かせただけららと思えます。

理事長 立教大学の総長の時は、4月から土曜、日曜はほとんど学校のPRで、夏休み明けまで地方出張に出て、同窓会等に参加していました。

保護者の会だけでなく、同窓会・学校関係者の3者で、どうやっていこうかを考えることが大切だと考えています。

話が変わりますが、青桐会は、会報誌「ARCH」を発行されているのです。

会長 はい。会報誌「ARCH」も、紙面を変えていきます。青桐会ホームページも全面更新して充実させていきます。

会長 立教大学で培ったいいところを、大東大でも活かして、経営面でサポートいただけるとうれしいです。

会長 学部学科編成についてどのようにお考えですか？

理事長 文科省基準の1・3倍の学生の数が在籍していた状況にくらべると、在籍学生数を基準に近づけると3割減になります。

また、小さい学科が多いと思います。経営学部が再編したように、2つの学科を1つにして、勉学に励みたい科目をコースとして選べるようにすることも大切ですね。

長期的展望としては、学部学科の再編・入学定員増・教員定数見直し・給与体系見直しの4つの基本方針を検討しています。

また、就職について、キャリアセンターの更なる充実を考えています。

教育は売り物で、仕入れとのバランスを取らなければ、今までの金融資産があるからと言っても、大学は崩壊してしまうのではないのでしょうか。

他大学は、学部の新設を熱心に行っているが、まずは学部を作るよりも既存の学部を整えたい。

会長 大東大は、警察官・消防官・教員等公務員に就職する卒業生が多いですが、一般企業も伸ばすように、キャリアセンターの充実をお願いします。

理事長 多くの学生が教員を目指しているので、来年度教職課程センターを設立し、中学高校教員の輩出に力を入れていきます。

偏差値を上げることだけを目指した学校にはしたくありません。

近所のお兄さん・お姉さんが、「あそこはいいよ」と言っていただけの学校、「大東大に入学して楽しい」といっていただけの学校にしないといけない。

この学校の文化を大好きになって卒業して行ってほしい。

会長 若手職員の参加や事務職員の体制は、いかがなものでしょうか。

理事長 大東大から魅力ある学生を輩出する。

そういう学生を育てるには、大東職員力を私達が育たなければならぬ。自己啓発を促し、事務職員の有り方が大切です。学生たちに身近な事務職員が、能力を発揮しなければならぬ。

「すべては、学生のため」という気持ちが大切です。

キャリアセンターに行けば悩みごとでも聞いてもらえる。学生支援センターの役目も兼ねる。こういうあり方が大事である。その為には、事務職員は、意識の変革と高い能力が求められる。大東の事務職員は、その必要な能力は兼ね備えている。

会長 板橋校舎等の高層化については、いかがですか？

理事長 高層化キャンパスは、研究室ならともかく、学生にとっては、学生・教員・職員等、いろいろな人

たちとすれ違うということが大事である。「あの人が見た事があるよね。」「今日は、元気なぞうだね。」と感じることが必要。違うことをやっている人がいっぱいいる。低層校舎だから人で混んでいる。それが楽しいのです。

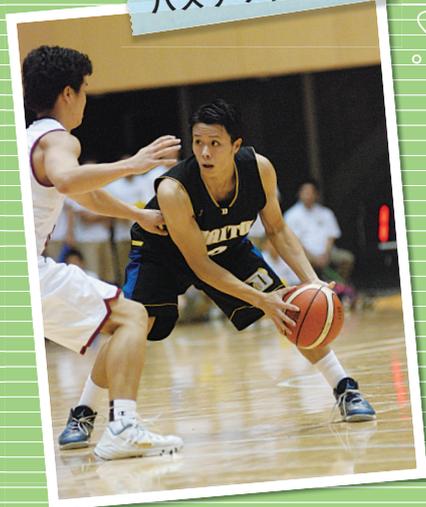
だから、高層化キャンパスはなるべく避けたほうがいいと思います。

会長 わかりました。これから学生・教員・職員が、3つの力が協力しあつて、改革を進め、経営面で素晴らしい内容にして大学を発展させてください。

長い間、お話しを伺いました。貴重な時間をありがとうございました。



バスケットボール



アイスホッケー



ボクシング



関東女子駅伝



野球



ラグビー



今回は、大東大の運動部と文化部を写真でご紹介します。紙面の都合で、ご協力頂いた全ての写真を掲載できませんでしたが、リニューアルした青桐会のホームページに掲載する予定ですので、ご期待ください。

写真の提供にご協力いただいた、スポーツ大東編集部と、学生支援課、そして各部の学生の皆様に感謝申し上げます。

児童文化研究部



劇団虚構



吹奏楽団



大東大文化部

がんばってるね!!

..... cultural clubs



がんばれ!
がんばれ!!

大東大運動部

.....Sports clubs.....

トライアスロン



弓道



テコンドー



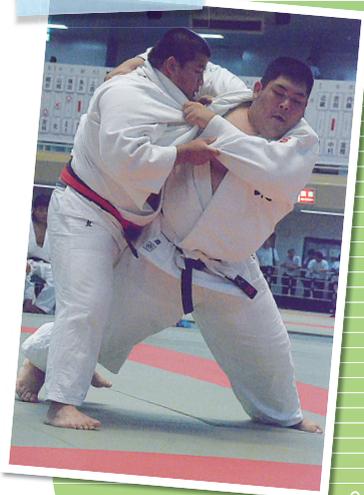
女子サッカー



男子サッカー



柔道



箱根駅伝



ハンドボール



2月

日	曜	行事内容
2	火	就職直前ガイダンス
3	水	面接トレーニング ★現役人事担当者から、直接面接指導を受けられます!
9	火	就活マナー講座
22	月	第6回就職ガイダンス
23	火	★求人票の見方をお教えます!
24	水	★3月に行われる学内就職セミナーのポイントをご紹介します!
25	木	公務員学内合同説明会 ★約10団体(行政・警察・消防等を予定)の貴重な情報を学内で得ることができます!
		第一回公務員模擬試験
29	月	企業人事担当者による公開模擬面接

3月

日	曜	行事内容
1	火	学内就職セミナー
2	水	★昨年度実績★ 参加者(3日間)約5,300名 企業約280社
3	木	
25	金	公務員面接対策講座

- ▶SPI講座、公務員講座等、外部講師をお呼びした各種講座があります!
- ▶教員志望者には毎週教職勉強会を実施しております!
- ▶キャリアセンターでは様々な行事を行っております。ぜひご家庭からも参加を進めてください!

杜の都駅伝 3年連続準優勝

10月25日、仙台において第33回全日本大学女子駅伝対校選手権大会が開催され、陸上競技部女子長距離チームは初優勝を目指して大会に臨みました。

レース序盤、1区11位と出遅れ、トップ差36秒で繋ぐと、2区で5人抜きの快走により6位に浮上しました。中盤に入り、3区は圧巻の4人抜きで力走し、2位で繋ぎ、4区で後続に迫られるも2位をキープしました。終盤5区は、福内キャプテンが後続の名城大学に一度は追いつかれましたが、抜き返して2位の走りをみせ、最終6区の谷萩選手は、関東大学女子駅伝での体調不良のアクシデントの屈辱を果たす走りを見せられました。結果、終始先頭を走る立命館大学の背中には一歩及ばず、2分48秒差の第2位でゴールテープを切り、3年連続の準優勝でシード権を獲得しました。

報告会で、外園監督は、「優勝を逃したのは悔しいが、後悔はしていない。関東大学女子駅伝ではアクシデントがあったが、

それを乗り越え、この大会を通して本当の意味で強くなれた。立命館は、決して追いつけないチームではない。3年連続2位という結果は、今後必ず力となって表れるものと信じて、来年は優勝してみせる」と誓いの言葉をのべられました。

青桐会は、朝からたくさんの方にご参加いただき、一丸となって応援しました。



編集後記

今年の最重要課題は、青桐会ホームページリニューアルでした。

このリニューアルにより、「ARCH」の紙面構成が変わりました。

全国支部総会活動報告はホームページに移行し、「ARCH」では陸上競技部やラグビー部をはじめとするスポーツ応援と文化団体が開催する演奏会や発表会などへの助成、就職に関わる活動を掲載していきます。

今後は、ホームページの更新を図りながら紙面の工夫を行い、青桐会行事やスポーツ応援、文化団体の発表をお届けします。

これからも、情報面で保護者の皆様方と大学側を繋ぐパイプ役になっていきたいと思っております。

青桐会活動に対し、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

◎発行責任者 佐々木 一男 ◎編集委員 委員長：森 浩史 委員：栗原 力男、田中 明美

大東文化大学青桐会この広報誌はHPの会員サイトに掲載されていますのでご覧ください。

〒175-0083 東京都板橋区徳丸2-4-21
大東文化会館2階
TEL 03-3936-6464
FAX 03-3936-6465
E-mail daitofki@galaxy.ocn.ne.jp

発行日=平成27年12月20日 通巻第87号 編集・発行人=佐々木 一男
写真提供=大東文化大学スポーツ大東編集部 デザイン・印刷=ナカバヤシ株式会社
発行=大東文化大学青桐会

0120-37-3583

青桐会へのご意見・ご要望・お問合せはフリーダイヤルへ